

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
公演団体名	一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

内容
<p>■オーケストラってなんだろう！？ テレビなどで見聞きするオーケストラの日頃の活動や、主要メンバー・役割をご紹介します。 演奏会がどうやって実施されているか、本公演にどんな人が来るのかを知ってもらい、本公演の鑑賞に興味を持っていただけるようにお話いたします。</p> <p>■オーケストラと合唱による共演曲の指導 本公演で共演する合唱曲(選択式)を指導いたします。 大きな声の出し方や歌詞の伝え方など、本公演だけでなく、その後の音楽の授業にもつながるアドバイスをいたします。</p> <p>■ミニ・コンサート 弦楽器、管楽器、ピアノ。オーケストラに登場する楽器によるコンサートを行います。 音の出る仕組みや、その楽器特有の音色を聴いていただき、本公演のイメージを膨らませます。</p> <p>■質問コーナー 日頃聞けないオーケストラの内情について、時間の許す限り質問を受け付けます。</p>

タイムスケジュール(標準)
<p>■午前開催 09:00 学校到着→会場設営・リハーサル 10:35 児童生徒入場 10:45 ワークショップ開始 12:15 ワークショップ終了 12:30 本公演打合せ 13:15 学校出発</p> <p>■午後開催 12:00 学校到着→会場設営・リハーサル 13:35 児童生徒入場 13:45 ワークショップ開始 15:15 ワークショップ終了 15:30 本公演打合せ 16:15 学校出発</p>

派遣者数

合計 6 名

- ・指揮者(主指導者) 1 名
- ・弦楽器または管楽器奏者 2 名
- ・ピアノ奏者 1 名
- ・事務局員 2 名

学校における事前指導

ワークショップまでに、共演曲目の事前練習をお願いいたします。

合唱用の譜面については、後日参考資料を送付いたしますので、普段使用している楽譜と調や全体の長さが合っているかご確認ください。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
公演団体名	一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

演目

- ◆ビゼー／歌劇「カルメン」より前奏曲（小学校）
- ◆ロッシーニ／歌劇「ウィリアム・テル」より「スイス軍の行進」（中学校）
- ◆楽器のお話
 - ・モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
 - ・チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」より「4羽の白鳥たちの踊り」
 - ・アンダーソン／トランペット吹きの日
 - ・アンダーソン／シンコペーテッド・クロック
- ◆指揮にチャレンジしてみよう！
 - ・ブラームス／ハンガリー舞曲第5番より
- ◆合唱曲で全員がオーケストラと共演（以下2曲より選択）
 - ・杉本竜一／ビリーブ
 - ・菅野よう子／花は咲く
- ◆スメタナ／交響詩「わが祖国」より「モルダウ（ヴルタヴァ）」（選択式）
- ◆シベリウス／交響詩「フィンランディア」（選択式）
- ◆オーケストラの伴奏で校歌を歌おう！

派遣者数

- 合計 73 名
- ・指揮者 1 名
 - ・司会者 1 名
 - ・楽団員 65 名
 - ・ステージスタッフ 4 名
 - ・事務局員 2 名

タイムスケジュール（標準）

※当日リハーサルを行う場合を想定

- 9:00 到着・舞台設営
- 11:00 リハーサル開始
- 12:00 リハーサル終了・昼食
- 13:00 開場
- 13:30 開演
- 15:00 終演・撤収
- 16:00 退館

実施校への協力依頼人員

合計 2 名

- ・会場準備や当日打合せ 1 名
- ・案内、誘導 1 名

演目解説

◆ビゼー／歌劇「カルメン」より前奏曲（小学校）

フランス歌劇の代表作で、日本国内でも人気の作品。軽快で親しみやすいメロディが、これから始まる演奏会への期待を高めます。

◆ロッシーニ／歌劇「ウィリアム・テル」より「スイス軍の行進」（中学校）

テレビ・映画などで耳にする非常に有名な行進曲。金管楽器による盛大なファンファーレは否応なしに気分を高揚させ、聴き手の心を掴んでくれます。

◆楽器のお話

オーケストラは弦・打・金管・木管の 4 つのグループで構成されています。

ここではそれぞれの名前や特徴を紹介した後、実際にどんな音が出るのかそれぞれのグループをフィーチャーした曲を聴いていただきます。

◆指揮にチャレンジしてみよう！ ブラームス／ハンガリー舞曲第 5 番より

児童生徒さんの代表者に、指揮者のお仕事を体験していただきます。

テンポが揺れ動くこの曲では一人一人の個性が生まれ、「指揮者が変われば演奏も変わる」という事を実感していただけます。

◆合唱曲で全員がオーケストラと共演

ワークショップで練習した成果を存分に発揮していただきます。

オーケストラの伴奏と合わせることで、児童生徒さんの音楽性をより一層引き出します。

◆スメタナ／交響詩「わが祖国」より「モルダウ(ヴルタヴァ)」(選択式)

音楽の授業でも度々取り上げられるこの曲は、ヴルタヴァ川を音楽で描写しています。下流へ向けて勢いを増していく川と、それに沿って移り行く風景を想像する力が刺激されます。

◆シベリウス／交響詩「フィンランディア」(選択式)

フィンランドの作曲家:ジャン・シベリウスが、ロシア帝国からの独立を願って作曲しました。暗い圧政から解放されていく情景や感情が、音楽によって見事に描かれており、音楽と歴史の関係性も感じていただけます。

◆オーケストラの伴奏で校歌を歌おう！

日頃、歌い慣れている校歌がオーケストラ版に大変身。いつもとは違う迫力のサウンドを味わっていただけます。公演後にお渡しする録音 CD は、学校行事などにご利用いただけます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

楽器のお話し

何とはなしに見聴きしている楽器を認識し、詳しく知ることにより積極的に鑑賞に参加してもらえるようにしております。

指揮者体験コーナー

憧れの職業でもある指揮者になれる、滅多にないチャンスです。

演奏者の視線・呼吸・緊張感を目の前で感じとることで、音楽によるコミュニケーションを体験することができます。

合唱曲

開催校が参加しやすいように、曲目を選択式にしております。

事前のワークショップから継続した練習の成果を披露し、オーケストラとの一体感ややり遂げた後の達成感を味わっていただけます。

児童生徒とのふれあい

指揮者体験や合唱曲共演を通して、見て聴くだけでなく一緒に演奏会を作り上げるという一体感演出いたします。そこに演奏者とお客様という境界は存在しません。

また、体育館のステージを使用せず、児童生徒さんと同じ高さに楽器を配置することで、より身近にオーケストラを感じていただけます。